

自然大好き

大きく大きくなーれ！ —稚鮎放流体験学習—

5月22日(火)、柚川で稚鮎の放流体験学習が行われました。この催しは、野洲川漁業協同組合が、魚や自然に親しむ機会と、美しい河川環境の大切さを学んでもらうため、小学生を対象に行われるもので、今年で15回目になります。



■稚鮎の旅立ち、元気に育ってね

今年、甲南中部小学校5年生30人が参加し、約4,000匹、50キロの稚鮎が放流されました。

放流された稚鮎は、自然の中で自由に泳ぐことを喜ぶかのように、もの凄い勢いで上流に泳いでいきました。今は小さな鮎ですが、自然の中で大きく成長します。

大きな鮎がたくさんいるきれいな川を願い、鮎の出発を見届けました。



■スリルと爽快、ターザンロードのアトラクション

で、今年、小鳥の巣箱作り、さつま芋植え、遊歩道を利用した自然アスレチック「ターザンロード」探検などを行いました。園児は、慣れないネジ締めが悪戦苦闘しながらも完成した巣箱に自分の名前を書き込み、小鳥の家になることを楽しみにしていました。ターザンロードでは、スリル満点の山滑りや、緑の中を爽快地に渡る谷渡りを楽しみました。里山が一大アミューズメントゾーンになった日、園児たちは時の経つのを忘れ、自然にふれあい、自然を楽しみました。

里山に歓声が こだました日

水口北保育園里山体験

細く長い山道を抜けるとそこには芋畑や池や小川や小鳥の鳴き声が、そしてその鳴き声の中にこだまする園児の歓声。5月23日(水)、水口北保育園の園児が、里山でいっぱい自然とふれあいました。この事業はNPO法人「甲賀の環境・里山元気会」のみなさんが、子どもたちのために、復元した里山を利用し、毎年行っているもの



■うまく摘めるかな、丁寧にお茶摘み

新茶摘んだよ♪ 市内小学校、 保育園でお茶摘交流

市内のお茶の収穫も最盛期を迎えたなか、市内の小学校、保育園でもお茶摘みが行われました。土山保育園では、5月21日(月)に老人クラブとのお茶摘み交流会が行われました。園児は老人クラブの皆さんに教わりながら丁寧にお茶を摘み、その後手もみをしました。むしろの上に広がったお茶からは新茶の甘い香りがいっぱい、中にはおいしそうなお茶の葉をそのまま頬張る光景もあり、楽しく交流できました。

手もみが済んだ茶葉は、3日ほど天日干しにして、保育園でいただきます。自分で摘んだお茶はまた格別でしょうね。



■お茶の香りいっぱい、手もみ作業

オリンピックの技を直伝 —ジュニアバレーボール教室—

5月27日(日)、土山体育館で、中学バレーボール部を対象にしたNHKジュニアバレーボール教室が開催されました。

講師に、オリンピック、Vリーグで活躍された大林素子さん、永富有紀さんを迎え、熱のこもった指導が行われました。

参加した部員の皆さんは最初は少し緊張気味なのか動きが堅かったようですが、一流選手のプレーや、なによりも熱い指導に真剣に取り組むことができました。

バレーボール技術の向上はもちろん、スポーツへの情熱、スポーツの素晴らしさをも学ぶことができた有意義な練習でした。



市内で最終日となった甲賀東保育園では、32名の園児が紙芝居やパネルシアターなどで楽しい時間を過ごしました。また、最後にはパネルシアターに出てくる主人公のマトリョーシカちゃんのお土産をいただき、大喜び、みんなの宝物になったようです。



こころ豊かな環境づくり

—市内保育園でおたのしみ
おはなしかい—

甲賀東保育園で5月21日(月)、滋賀県民共済生活協同組合主催による「おたのしみおはなしかい」が行われました。

この催しは、同組合の「地域社会への奉仕と参加で、こころ豊かな環境づくり」の活動として県内で展開されているもので、2月から5月にかけては、市内保育園で開催されました。